希学園 第408回 小3公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第408回公開テスト 小3国語 解説動画(2026年5月10日実施)	https://vimeo.com/1190672960/3d48c64930

希学園　第408回　公開テスト　小3　国語　2026年5月10日実施　【模範解答】　制限時間30分

1

① 白鳥
② 親しい
③ 計画
④ 夜間
⑤ 当日

2

1 南アメリカ
2 Ⅰ だけ［「のみ」も可］
Ⅱ しか
3 品種改良
4 生で食べる
5 A イ
B オ
6 エ
7 ウ

3

1 3
2 A・B［順不同・完答］
3 Ⅰ ま
Ⅱ か
Ⅲ さ
4 ① エ
② ウ
5 ずんどうなべ
6 エ

配　点

1	各2点×　5＝10点
2～3	各5点×18＝90点
	＜計＞100点

希学園 第408回 公開テスト 小3 国語 2026年5月10日実施 【解説】

1 小学校2年生までに学習した漢字から出題している。①「白鳥」は冬の渡り鳥である。「鳥」のたて画は二画めである。②の「親」を「新」とまちがわないように。③「計画」は目標を達成するために前もってやり方を考えること。「画」の中央のたて画は四画めである。④の「夜」の部首は「夕(ゆうべ)」。最後に右はらいを書く。⑤「当日」は(何かがある)その日のこと。「当」の上のところを「ツ」のような形にしてはいけない。

2 石毛直道 監修　朝倉敏夫・阿良田麻里子 著　『くらべてみよう！　日本と世界の食べ物と文化』
(設問の都合上、表記の一部を変更しています)

1 「原産地は南アメリカ」とあった。通読の際に押さえておかねばならない。

2 Ⅰ 「夏の野菜」は夏に採れる野菜だから空らんには何も入れなくても通じると思ったかもしれないが、あとの「今は」「一年中」「できる」と比べて考えれば、「五十年ほど前まで」は夏以外にはできなかったということがわかる。
Ⅱ 空らんにことばを入れないと、「夏の野菜」なのに夏に採れない野菜になってしまう。Ⅰがわかれば思いつけたはずである。

3 「甘いトマト」は「何をしたおかげでてき」たのかと考える。問いが何をたずねているのかをつかめれば容易であった。「かされて」はくり返してということである。

4 「加熱」しないということは「生」なのである。

5 A 中国北部では夏には生で食べるが夏が終わるころからは調味料として使う　↓　また　↓　イタリアの農家ではピューレやソースにして一年中使う。
(中国とイタリアの使い方がちがうから「でも」を入れたくなるかもしれないが、国によってトマトの使い方がちがうのは意外というほどのことではない。トマトについて中国の使い方とイタリアの使い方を並べている)
B トマトで思いうかぶのはイタリア料理だ　↓　でも　↓　トマトの原産地は南アメリカだ。
(こちらは意外なつながりになっている。問6の答えがわからなくても、トマトはイタリアと関わってはいるが原産地ではないと考えればよい)

6 ～といえば～が有名だ、一番に思いうかぶということである。ウは逆で、イタリア料理といえばトマトだの意味にあたる。

7 「あまり」は数を示すことばのあとについて、それより少し多いことを表す。「ここ」は今からさかのぼってという意味になっている。アでは今はもう食べていないことになるし、イではこれからは食べないことになる。

3 村上しいこ　『ノンキーとホンキーのカレーやさん』

1 ホンキーにせかされて、お店に行く前に顔をあらったのである。★1は「ベッドからおり」て「まどから顔をだ」す前のところだし、★2はそのままホンキーと会話を続けているとちゅうである。また、★1も★2も、あとに「まだ、ねぼけまなこ」とあるので、まだ顔をあらっていないようである。そして、★4だとお店に行ってから顔をあらうことになるのでおかしい。

2 のんきなノンキーは「まだ」朝だからゆっくり寝ていたいのである。まじめなホンキーは「もう」朝だからすぐに「あした」の開店の「ようい」をしたいのである。

3 Ⅰ 寝ぼけていてぼんやりした目のこと。「まなこ」は目玉、ひとみのことである。
Ⅱ 物事の先を急いで落ち着きのないようす。
Ⅲ 時間をおかずにすぐ行うようす。すみやかに。

4 ① 「かわいい」には、小さくて愛らしいという意味がある。
② 「いのち」には、活動を支える源、最も大事なものという意味がある。

5 もちろん「お店」にある「いちばん大きななべ」の名前である。あとに「あるんだ」とあるように、ノンキーはその名前を知らなかったのである。

6 たしかに「料理」担当のホンキーは「スープ」作りで「いそがしい」。だからといって「ノンキーはひまなんだから」という「いいかた」は、ばかにしているようである。ノンキーは「注文をきい」て「料理をはこぶかかり」なので開店前の今は、さしあたって「そうじ」以外にすることがないのである。また、その「そうじ」も「きのう、十回くらいした」のだから、決してさぼっているわけではないのである。アもばかにした感じだが、これは別の場面である。

以上